

# マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2022年6月号

2022年6月1日  
(一財) マイクロマシンセンター  
<https://www.mmc.or.jp/>

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

## 掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
  - ・内閣府公表 月例経済報告 より
  - ・内閣府公表 設備投資 (機械受注統計調査報告) より
  - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

### 1. 全般動向

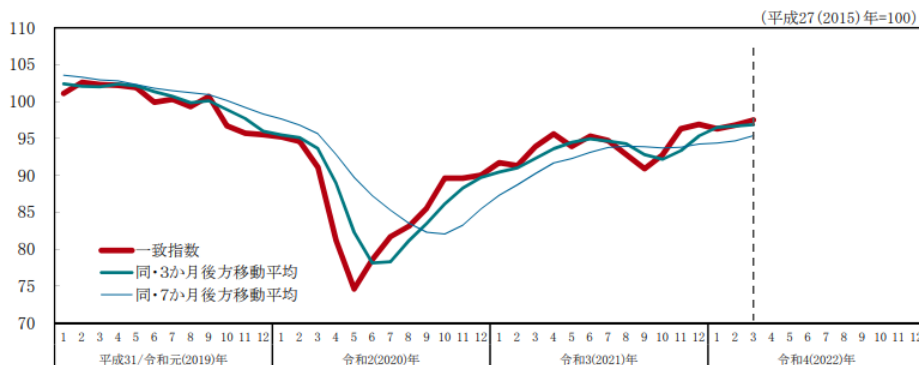
#### ■ 景気動向指数 (速報、改訂値) 結果 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋) 令和4(2022)年3月分速報からの改訂状況 (令和4(2022)年5月25日発表) より

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202203rsummary.pdf>

- ① 3月分CI (平成27(2015)年=100) (改訂値)は、  
先行指数：100.8、一致指数：97.5、遅行指数：95.4
- ② 一致指数の基調判断  
景気動向指数 (CI一致指数) は、改善を示している。

	3月分CI (平成27(2015)年=100)	
	速報	改訂
先行指数	101.0	100.8
一致指数	97.0	97.5
遅行指数	95.7	95.4

一致指数の推移



▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 参考 - 景気動向指数「令和4(2022)年3月分(速報)(5月11日公表)」pdf：

(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202203psummary.pdf>

(公表資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202203report.pdf>

## 2. 各経済指標

### ■ 月例経済報告（5月）（内閣府、令和4年5月25日 公表）

（「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」より抜粋）

▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2022/05kaigi.pdf>

### <日本経済の基調判断>

（現状）【表現変更】

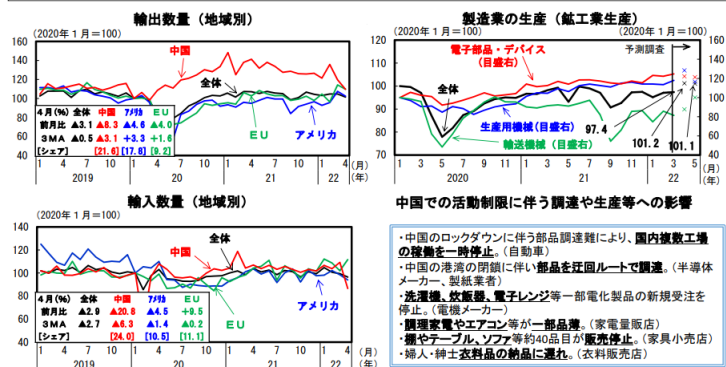
- ・ 景気は、持ち直しの動きがみられる。

（先行き）

- ・ 先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、中国における感染再拡大の影響やウクライナ情勢の長期化などが懸念される中で、供給面での制約や原材料価格の上昇、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。

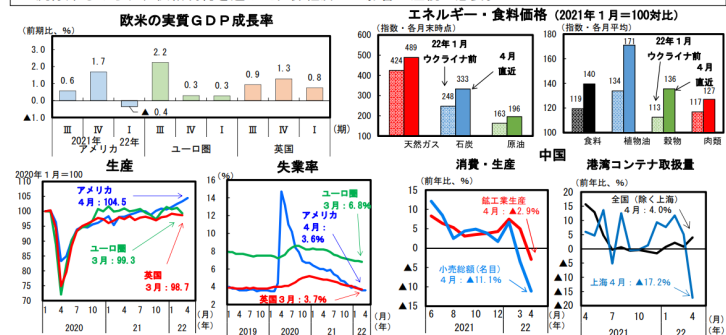
#### 今月の指標(2) 輸出入・生産

- ▶ 我が国の輸出は概ね横ばい。アメリカや欧州向けは、持ち直しの動きがみられる一方、アジア向けの落ち込みにより弱含み。輸入は、中国の活動制限の影響などから弱含み。
- ▶ 生産は持ち直しの動き。供給制約等により、輸送機械は持ち直しに足跡がみられる一方、生産用機械や電子部品・デバイスなどが緩やかに増加。足下では、中国での活動制限を受け、国内の様々な業種において、部品・製品調達の流れや生産活動の停滞が生じており、今後の影響を注視。



#### 今月の指標(3) 世界経済

- ▶ 世界の景気は、中国等で感染再拡大の影響がみられるものの、持ち直し。
- ▶ 1-3月期のGDPは、ユーロ圏、英国では引き続きプラス成長となり、この結果、アメリカ、ユーロ圏に続き、英国もコロナ禍前の水準を回復。アメリカでは生産は緩やかな増加が続き、失業率は欧米ともに引き続き低下。
- ▶ 国際商品市場におけるエネルギーや食料の価格は、ウクライナ情勢等を背景に高水準で推移。
- ▶ 中国では一部都市での厳しい防疫措置を受け、国内の消費、生産などが足下で大きく減少。海運など物流停滞もみられ、供給制約を通じた世界経済への影響に注視が必要。



- ▶ 内閣府「月例経済報告（令和4年5月）」（pdf）：  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2022/0525getsurei/main.pdf>
- ▶ 内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」TOP ページ：  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>
- ▶ 内閣府「月例経済報告」TOP ページ：  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

■ 設備投資 令和4年3月実績：機械受注統計調査報告  
 (令和4年5月19日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

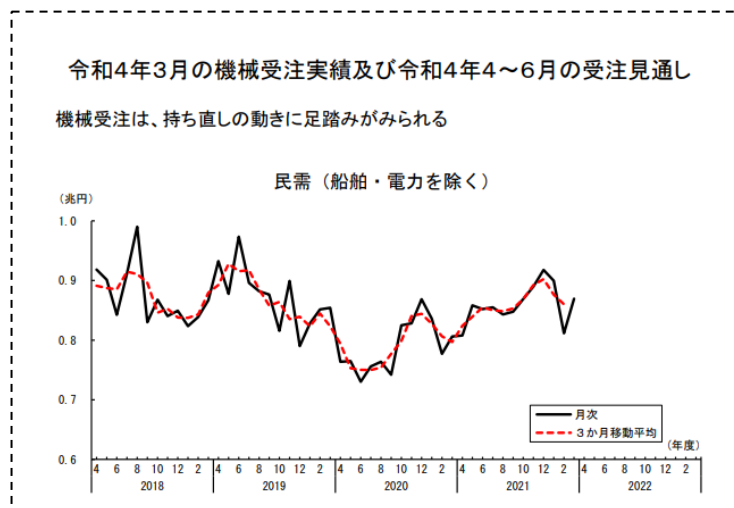
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2022/2203juchu.html>

調査結果の概要（季節調整値）：

1. 機械受注総額の動向をみると、  
2022（令和4）年2月前月比10.6%減の後、3月は同2.5%増の2兆5,203億円となった。
2. 需要者別にみると、  
民需は前月比0.4%減の9,279億円、官公需は同61.9%増の3,586億円、外需は同14.2%減の1兆888億円、代理店は同22.9%増の1,169億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、  
2022（令和4）年2月前月比9.8%減の後、3月は同7.1%増の8,695億円となった。このうち、製造業は同7.1%増の4,545億円、非製造業（除く船舶・電力）は同11.0%増の4,305億円となった。

（以下図表は「令和4年3月の機械受注実績 概要（PDF版）」より抜粋）

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2022/2203gaiyou.pdf>



対前月（期）比 (単位：%)

期・月	2021年 (令和3年)			2022年 (令和4年)		2021年 (令和3年)		2022年 (令和4年)	
	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 見通し	12月 実績	1月 実績	2月 実績	3月 実績
受注総額	2.1	1.5	9.0	△9.7	5.2	1.8	△3.3	△10.6	2.5
民需	7.5	△0.9	14.1	△13.9	1.3	6.2	△9.9	△6.4	△0.4
（船舶・電力を除く）	4.1	1.1	5.1	△3.6	△8.1	3.1	△2.0	△9.8	7.1
製造業	11.1	7.2	3.1	0.8	△0.1	3.5	△4.8	△1.8	7.1
非製造業（除く船舶・電）	△0.9	△3.6	6.8	△8.1	△12.1	0.4	△1.9	△14.4	11.0
官公需	△0.5	5.9	3.6	△2.8	△8.8	1.5	△13.6	△5.3	61.9
外需	0.3	4.1	1.7	△6.6	15.4	△2.8	0.9	△2.8	△14.2
代理店	9.3	2.0	1.4	△11.3	11.6	△6.4	1.4	△18.6	22.9
民需（船舶電力を除く） 3か月移動平均	-	-	-	-	-	1.2	△2.9	△1.8	-

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。  
 2. △印は減少を示す。  
 3. 見通しは2022年3月末時点の調査。

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

## ■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～ (経済産業省 2022年5月31日発表)

### 【2022年4月分】鉱工業指数の動向(速報)より抜粋

- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015\\_202204sj.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202204sj.pdf)
- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015\\_202204sj.html](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015_202204sj.html)

#### ー 生産は足踏みをしている ー

- ・ 今月は生産、在庫、在庫率は低下、出荷は横ばいであった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、5月、6月ともに上昇を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は足踏みをしている。

#### ・生産は、前月比-1.3%の低下。

低下業種： 電子部品・デバイス工業、生産用機械工業、自動車工業等

上昇業種： 電気・情報通信機械工業、汎用・業務用機械工業、  
化学工業(除. 無機・有機化学工業・医薬品)等

#### ・出荷は、前月比0.0%の横ばい。

上昇業種： 電気・情報通信機械工業、汎用・業務用機械工業、  
輸送機械工業(除. 自動車工業)等

低下業種： 電子部品・デバイス工業、石油・石炭製品工業、生産用機械工業等

#### ・在庫は、前月比-2.5%の低下。

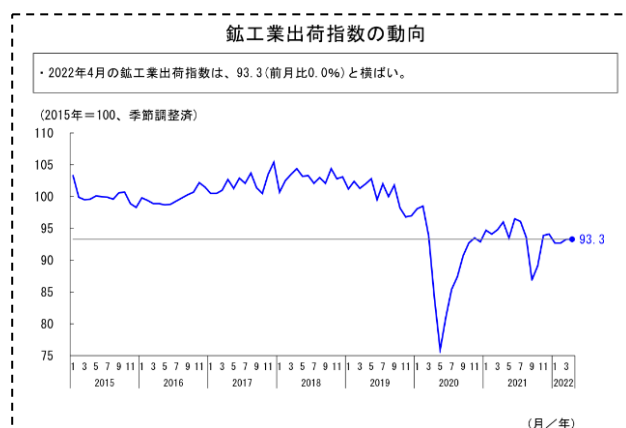
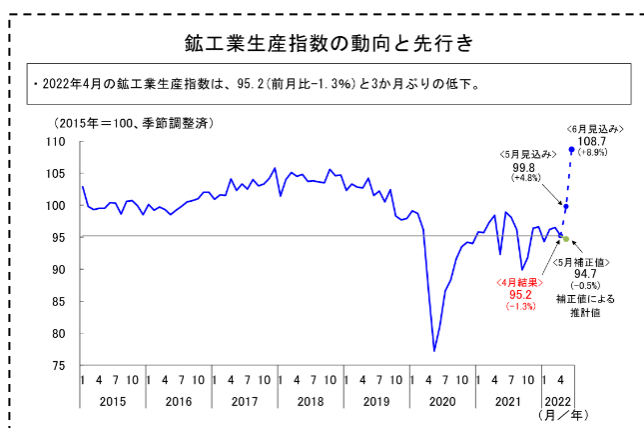
低下業種： 電気・情報通信機械工業、生産用機械工業、汎用・業務用機械工業等

上昇業種： 石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、  
輸送機械工業(除. 自動車工業)

### 4月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20220531\\_1.html](https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20220531_1.html)

(解説) 4月の鉱工業生産は、電気・情報通信機械工業などで上昇したものの、電子部品・デバイス工業などで低下したことから、全体として前月比マイナス1.3%と3か月ぶりの低下。基調判断は、「足踏みをしている」に引き下げ。



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

鉱工業指数(最新の)「結果の概要」:

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

### 3. その他の動向

#### ■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2022年5月31日発表より抜粋)

#### 【2022年3月動向概況】

- ・ 2022年3月のグローバル出荷額は3,895億円、前年比107.8%となった。前年比9%程の円安が、前年割れを阻止した。
- ・ 品目別(大分類)は受動部品(前年比106.7%)、接続部品(同108.9%)、変換部品(同114.3%)、その他の電子部品(同102.5%)となった。
- ・ 地域別出荷は日本(前年比107.5%)、米州(同118.6%)、欧州(同100.7%)、中国(同100.5%)、アジア・その他(同118.6%)となった。

#### 【月別出荷金額】

##### 1. 月別出荷金額 (2022.05.31 発表: 毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2021年度						2021年度累計		
	1月		2月		3月		4月-3月		
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	
世界計	3,680	112	3,326	112	3,894	107	43,820	118	
(日本)	753	113	727	114	839	107	9,482	123	
品目別	受動部品	1,744	119	1,572	113	1,811	106	20,702	122
	コンデンサ	1,304	124	1,170	115	1,335	108	15,210	123
	抵抗器	152	118	144	115	171	110	1,847	127
	トランス	41	118	33	106	41	108	440	118
	インダクタ	238	99	213	100	253	96	3,109	116
	その他	7	155	9	237	9	132	93	146
	接続部品	843	108	787	113	942	108	10,097	114
	スイッチ	331	103	310	108	375	99	3,887	105
	コネクタ	509	112	473	117	562	115	6,173	121
	その他	2	93	2	77	4	128	36	101
	変換部品	615	110	549	120	642	114	7,261	121
	音響部品	114	106	107	115	133	126	1,258	112
	センサ	216	100	203	106	219	90	2,625	111
	アクチュエータ	284	121	238	137	289	134	3,377	135
	その他の電子部品	477	101	417	98	498	102	5,758	107
	電源部品	192	114	204	123	227	110	2,414	122
	高周波部品	284	95	213	81	271	96	3,344	98

#### 【地域別出荷金額】

##### 2. 地域別出荷金額

«2021年度»

地域別出荷金額 (億円)	2021年度						2021年度累計	
	1月		2月		3月		4月-3月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,680	112	3,326	112	3,894	107	43,820	118
日本	753	113	727	114	839	107	9,482	123
米州	386	125	381	130	426	118	4,364	127
欧州	362	112	354	111	381	100	4,087	121
中国	1,315	101	1,064	98	1,351	100	16,106	107
アジア他	859	127	795	124	892	118	9,748	127

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ [https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info\\_stati.html](https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html)

以上